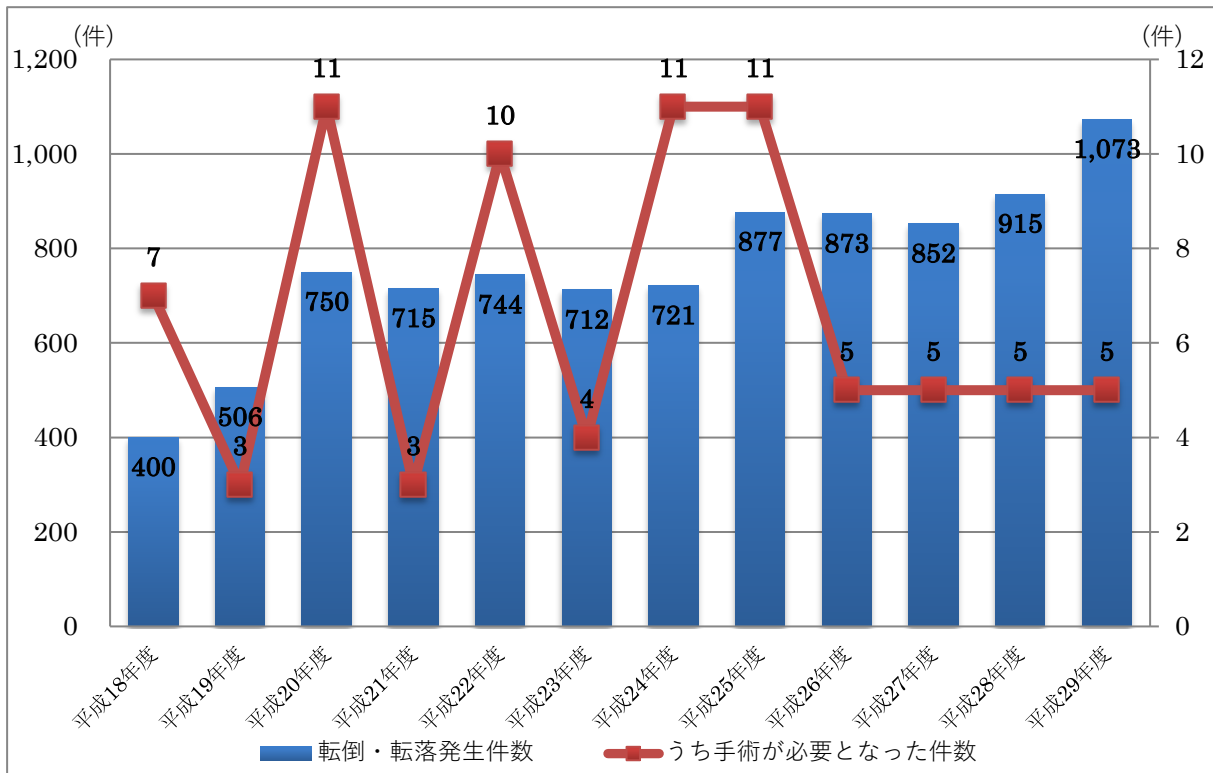


16. 入院患者の転倒・転落報告数と手術が必要となった件数



転倒・転落事故は、院内で発生している事故の中でも件数が非常に多い。転倒・転落に至る患者別の要因としては加齢に伴う筋力・バランス能力の低下や、入院に伴う環境の変化、さらには疾患に伴う身体の変化や、薬剤の影響など多岐にわたる。しかし、骨折等の重大な合併症を伴う事例は減少し、近年大きな変動はない。全ての入院患者、特定のエリア・場面の外来患者に転倒・転落リスク評価を行い、ハイリスクの患者にオレンジのリストバンド、オレンジのネームストラップをつけて把握している。

データ提供 医療の質・安全対策部 安全管理室